

【 天国への手紙

2021年6月20日放送分】

一平じいちゃんへ

ラジオネーム：おらふ

晴れた日の穏やかな海を、ぼーっと眺めていると

一平じいちゃんの事を思い出す。

僕がまだ小さい頃は、まだ船に乗って仕事をしていたよね

何度か一平じいちゃんが仕事している所に

乗せて行ってくれたのを覚えているよ。

幼いながらも僕は、一平じいちゃんが真剣な顔で力いっぱい

網を引っ張り上げている姿を

「かっこいいなあ」って思ってたんだよ。

年をとって引退した後は、家の庭いじりをしたり、

鯉を飼って可愛がっていたよね。

休みの日には一緒に釣りに行ったり、

一平じいちゃんの大好きだった馬を見るために、

牧場とか競馬場にも行ったのを昨日の事のように覚えている。

そんな活発で元気な一平じいちゃんが、

病気になって入院した時には、ちょっとショックだったな。

日に日に力強さが無くなっていく姿を見るのはしらかったけど、それでもおしゃべりする時は、

いつも元気に笑いながら話してくれてたよね。

その姿を見ているだけで、僕の方が元気を貰っていたりしたんだよ。入院してから亡くなるまで、ずっと僕の学校のこと、就職のこと心配してくれていたのをよく覚えているよ。

そんな僕も社会人一年目。実際に働いてみると、大変なことや上手くないかないこと、理不尽なことも沢山あってしんどい時もある。

一平じいちゃんが、自分の仕事に並々ならぬ情熱や誇りをもって仕事に向き合っていた事が、本当にすごいって、

尊敬できることなんだなって思った。僕も一平じいちゃんみたいに、カッコいい大人になれるように頑張るから、天国で見守っていてね。

一平じいちゃんがいつも聞いていた曲でした。今もテレビやラジオで流れてくると、在りし日を思い出します。

リクエスト曲

(しづなご／テレビサテン)